



3週間にわたる宮崎学園短期大学の学生の教育実習が終わりました。この間、実習生は担当職員の指導を受けながら、朝の活動をはじめ様々な保育活動に取り組んできました。最終日前日の15日(金)には、お別れ会を開き、園児と楽しく交流しました。これらの経験を活かし、ぜひ保育士として働くという夢をかなえてほしいと思います。



○ いざという時の備えを！

最近、世界各地で大きな地震や火山の噴火が起きています。国内でも各地で地震が多発しています。宮崎市でも先週12日(火)の早朝、震度4の地震がありました。また、昨日は大阪北部で午前8時前に震度6弱の地震があり、9歳の少女をはじめ3名が亡くなっています。天災はいつやってくるか分かりませんので、日頃の備えが必要です。

本園では、毎月1回、避難訓練を行っています。0歳児から非常ベルの音を聞いたり、大人に連れられて避難する時の緊迫感を感じたりすることで、少しずつ「自分の命は自分で守る」意識を培うことができればと思い、実施しています。家庭でも、地震や風水害、火災などの報道があった時は、身近な所でこのようなことがあった時はどうしたらよいか、と話題にしていただけると、子どもたちの意識も高まると思いますので、よろしくお願いします。

○ プール開き

18日(月)、幼稚園部がプール開きを行いました。朝は小雨も降っていて、実施が危ぶまれましたが、その後、日差しも時折見られるようになり、予定通り実施しました。

初めに、2階ホールで水遊びをする際の約束を確認してから、年少組の子どもたちから順番に屋上のプールに入り水遊びを楽しみました。

なお、保育園部のプール開きは、体調が万全でない子どもたちがいましたので、来週に延期しました。



○ 足の健康（足育） 7

17日(日)の内容は「爪の切り方」でした。

適当な切り方は、爪は指先と同じ長さか、やや眺めの位置でまっすぐに切り、両端の角をやすりなどで丸く整える「スクエアカット」と呼ばれる切り方が基本だそうです。

ところで、爪の役割は2つあるそうです。それは、「指先を守ること」と「指先の力を強めること」。

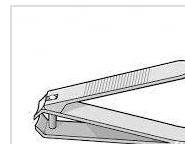
爪を短く切りすぎると、爪が皮膚に当たり、爪の角が刺さって腫れたり、うまく伸びずに巻き爪になったりします。爪を指先と同じ長さで整えると、体重をしっかりと支えることができ、歩き



よく見かける爪切り
(刃の中心が低くなっている)



刃先がまっすぐな
爪切り



刃の中心が高くなっ
ている爪切り

方が安定し、転びにくくなるそうです。

爪の切りすぎを防ぐためには、爪切りの刃の形にこだわるのも一つの方法だそうです。爪切りの「刃先がまっすぐなもの」か、「刃の中心が高くなっているもの」を選び、お風呂上がりで爪が柔らかくなっている時に、両端から少しずつ切るようにすると、切りすぎを防ぐことができるそうです。爪の角を整えるやすりは爪切りに付いているものではなく、別に「爪やすり」を用意するとよいようです。

○ 私の園経営方針

6月も半ばになりました。ちょっと遅くなりましたが、私のみどり幼稚園経営方針について、書かせていただきます。概要は5月の保護者の会総会でお話ししましたが、具体的にお伝えします。私がみどり幼稚園経営を通して、どのような子どもたちを育てていきたいのかをご理解いただき、これからのみどり幼稚園の教育・保育活動にご協力いただければ幸いです。また、私の考えや園の状況等に対して保護者の皆さんからのご意見もいただきました、よりよい園にしていきたいと思っています。

宮崎学園の建学の精神は「礼節・勤労」～礼節を重んじ 勤労を尊ぶ～です。「礼節」は、人がお互いを思いやり、自分を大切にするとともに他を重んずる精神。つまり、思いやりの心です。「勤労」は、心身を労して勤めに励むことであり、何事においても意を尽くし、力を尽くして努力すること。つまり、やるべきことをあきらめずにがんばる強さです。

また、みどり幼稚園の保育目標として、「きまりよく（躾の教育と生活指導）」「なかよく（和の教育）」「ありがとう（感謝の念を培う）」です。

私は、この建学の精神と保育目標を踏まえて、「命」「夢」「心」の3つをキーワードに、子どもたちの健やかな成長を目指して園経営に取り組んでいきます。

命 = 「心身の健康に気をつけ、自他の生命を大切にする態度」を育みます。

教育・保育を進める上で、子どもたち一人一人に「命」の大切さを伝えていきます。

保護者の皆さんからいただいた大切なたった一つの命。この命は自分一人だけの命ではなく、保護者の皆さんの命でもあるという意識をもたせます。そして、自分の命と同様に、周りの人の命も大切にしようという意識を高めさせたいと考えます。そのために「自分の命は自分で守る」「自分の健康は自分で守る」という主体的な態度をしっかりと身に付けさせていきます。

夢 = 「かなえたい目標をもち、その実現に向け努力する行動力」を育みます。

せっかく保護者の皆さんからいただいた「命」です。毎日を大切に有意義なものにしてほしいと思います。そのための手段として、子どもたちに夢をもたせたいのです。夢は、子どもにより様々です。同じ子どもでも、成長や状況により夢は変わっていきます。夢は変わってもよいと思います。とにかく、具体的であれ、漠然としたものであれ、今、自分はどうありたい、何になりたい、何ができるようになりたい、という夢をもたせることが、今をしっかりと生きるうえで大切だと考えます。将来、子どもが自立して自分の人生を生き抜く力の素地を今から少しずつ身に付けさせていきたいと思います。

心 = 「逆境に負けない強い心と、他を思いやる優しい心」を育みます。

すでに本園ホームページの園長日記でも紹介していますが、年少組の子どもたちがボランティア活動（1階テラスの清掃活動）をしてくれています。うれしいことです。私は子どもたち一人一人に、人の気持ちを考えながら行動できる、いわゆる思いやりの心や、思ったことをやり遂げようとする強い心を育みます。

この「心」は宮崎学園の建学の精神と、みどり幼稚園の保育目標と一致していますので、特に力を入れていきたいと考えています。

これら3つを具体的にどうやって実現していくのかについては、この「みどりっこ」で少しずつお知らせしたいと考えていますので、よろしくお願いします。